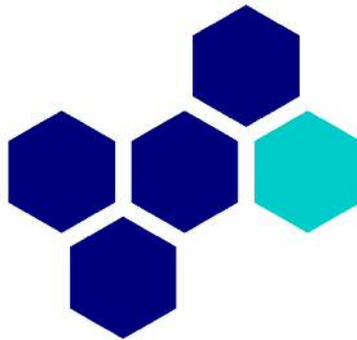


環境活動レポート



KAMEDA & CO., LTD.
SINCE 1968

対象：全組織・全活動

期間：2016.4～2017.3

発行日：2017年6月19日
(毎年1回発行)

亀田産業株式会社

組織の概要

社名 亀田産業株式会社
所在地 栃木県宇都宮市川田町432番地
代表者 取締役社長 亀田 清
環境管理責任者 取締役社長 亀田 清
連絡先 電話 028-656-3464
従業員数 31名



事業活動の概要

航空部品・治具の製作（非金属材料を使用したハニカムコア加工等及び縫製加工）及び家具類の販売など比較的環境にやさしい業態です。特に家具部門では積極的に修理を進めて粗大ごみの減量に貢献しています。

事業の規模：敷地面積2500㎡

環境活動全組織・全活動対象としレポートは毎年1回作成します。

関連法規遵守状況

当社におきましては、昭和49年3月当地にて開業以来現在まで関連法規違反はございません。

亀田産業株式会社 環境方針

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

この理念の下、企画、設計、製造、サービスの経営全般にわたり環境を考慮し、以下の方針を以って継続して環境保全活動を推進する。

1. 当社の経営理念を踏まえ、当社の活動・製品・サービスの性質・規模及び環境影響に対して適切な環境経営システムを構築する。
2. 当社の事業特性が、環境に与える影響を的確に捉え、環境経営システムの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び受入れを決めたその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努め管理レベルの向上を図る。
4. 当社の環境側面に係る以下の項目を、環境保全の重要項目として優先的に取り組む。
 - ① 二酸化炭素排出量削減
 - ② 廃棄物排出量削減
 - ③ 総排水量削減
 - ④ 化学物質使用量の適正管理
 - ⑤ グリーン購入
 - ⑥ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスにおける環境負荷削減
5. この方針を達成するために、目標の設定と推進、教育・訓練の実施、代表者による見直しの実施等、文書化された環境経営システムを構築し、有効な施策を展開する。
6. この環境方針は全社員に周知するとともに、外部からの要求に対し開示する。

平成26年8月1日

亀田産業株式会社

取締役社長 亀田 清

2016年度 環境目的・目標及び実施計画書

評価基準 X: 目標の達成度
 ○: X 100%以下とする
 ×: X 100% 超過(120以上%は是正対象)



項目	環境目的	課題(何を)	具体的方法(どのように)	達成基準(どこまで)				責任者(誰が)	目標/実績	日 程 (いつまでに)												通年評価		
				基準(BM)		目 標				目的		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
省エネルギー	省エネルギー/二酸化炭素の排出削減	電気使用量の削減kwh	目標使用量(単位:Kwh) CO2換算値*0.378(単位:Kg) 削減率 削減目標絶対値(単位:Kwh) CO2換算値(単位:Kg) 空調を必要な区域・時間に限定する 消灯スイッチ確認,集中作業	189757 71728 1% 1898 717 操業度込削減量 操業度込目標使用量	189,188 71513 99.7% 569 215 2,130 187,627	188619 71298 99.4% 759 215 -20700 208327	187,860 71011 99.0% 287 833 207,494	推	削減目標 削減実績	208 3774	417 8611	625 14222	833 15908	○	○	○	○							
			化石燃料使用量の削減(ガソリン)	目標使用量(単位:L) CO2換算値*0.0183*34.6(単位:Kg) 削減率 削減目標値(単位:L) CO2換算値(単位:Kg) 集中配送,停車中エンジン停止	3,765 2384 1% 38 24 操業度込削減量 操業度込目標使用量	3,754 1,419 99.7% 11.3 4.3 1,171 2,594	3742 1415 99.4% 11 4 2880 2,889	3,727 1409 99.0% 15 6 2,869	推	削減目標 削減実績	3 97	6 242	9 373	12 502	○	○	○	○						
				化石燃料使用の削減(灯油)	目標使用量(単位:L) CO2換算値*0.0185*36.7(単位:Kg) 削減率 削減目標値(単位:L) CO2換算値(単位:Kg) 火力抑え目設定する,極力消す	7,654 5197 1% 77 52 操業度込削減量 操業度込目標使用量	7631 2885 99.7% 23.0 8.7 3,538 4,116	7608 2876 99.4% 23 9 -454 4570	7,578 2864 99.0% 31 12 18 4,552	事	削減目標 削減実績	5 1138	9 2276	14 1186	18 -1086	○	×	×	×					
廃棄物削減	廃棄物削減/再資源化推進	分別の徹底による再資源化	目標使用量(単位:m) 削減率 削減目標値(単位:m) 修理・再利用の促進 粗大ごみは分解・分別して捨てる 資源ごみの分別	83 1% 0.8 0.2 0.1 操業度込削減量 操業度込目標使用量	83 31 99.7% 0.2 0 -5 88.2	83 31 99.4% 0 0 -10 98.0	82 31 99.0% 0 0 0.4 97.6	推	削減目標 削減実績	0.1 7.9	0.2 2.8	0.3 10.2	0.4 19.1	○	○	○	○							
			有効利用と節水の徹底	目標使用量(単位:m) 削減率 削減目標値(単位:m) CO2換算値(単位:Kg) こまめに止水するよう喚起する 水洗チェック	52 1% 0.5 0.2 0.1 操業度込削減量 操業度込目標使用量	52 20 99.7% 0.2 0 -5 45	52 20 99.4% 0 0 -5 50	51 19 99.0% 0 0 0.2 49.8	事	削減目標 削減実績	0.1 3.5	0.1 -1.1	0.2 1.4	0.2 -10.2	×	×	×	×						
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー用紙使用量削減	目標使用量(単位:枚) 削減率 削減目標値(単位:枚) CO2換算値(単位:Kg) チラシ等裏面の利用/文書の裏面利用 両面コピーの促進	2,569 1% 26 CO2換算値(単位:Kg) 操業度込削減量 操業度込目標使用量	2561 968 99.7% 8 3 1,031 1,538	2554 965 99.4% 8 3 -170 5878	2,543 961 99.0% 10 4 24 5,854	事	削減目標 削減実績	6 -105.4	12 -931.8	18 -5829.1	24 -10050.5	×	×	×	×							
			化学物質の使用量適正化	支給される接着剤の使用量を把握し無駄な増加を防止する	結果=0 0	0	0	0	0	推	目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0									
環境配慮	グリーン購入の推進	環境配慮品の選択購入(事務用品,文房具等)	低燃費車・工事目標数(単位:件) グリーン購入促進として低燃費車への切替・照明のLED化及び2重サッシ等の断熱工事を進める⇒実施済	1	0	0	1	事	目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0											
			環境負荷を低減する工程計画の策定	2016年度までに2013年度比1%削減 活動継続性配慮 改善シート活用 家具修理推進	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	推	目標 実績	99.0%=> 99.0%=>	99.0%=> 99.0%=>	99.0%=> 99.0%=>	99.0%=> 99.0%=>										
教育	環境教育の充実	環境意識の高揚を図る	定期的に教育を実施する 社外情報などを社内報で水平展開する	2013/6/7	2014/6/6	2015/6/1	2016/6/6	推	目標 実績	1 1	0 0	0 0	0 0											
E M S 管理 責任者 コメント 欄									<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>	<コメント>											
上 期	今期は2013年度を基準として設定した2014~2016年の3年間に亘る削減目標の最終年度に当たり、前年比-0.4%削減目標で活動を推進した。(中期計画最終年度)新機種777Xの立上りに関連して、新たな品質要求を含む顧客要求事項への対応が求められる時期となったが、特に社内コミュニケーション強化による情報共有のための会議資料や製品トレーサビリティの識別などで、コピー機の増設と使用頻度が大幅に増加することとなった。このため、これ尾反映してコピー機のカウンター数を以て測定している紙の使用枚数が毎月急増することになった。また、建設後40年以上に及ぶ施設を使用しているため、特に配管等の老朽化による水漏れも発生し、水の使用量増となった。(故障箇所は、速やかに修理対応した)								2016年度第1四半期4~6月、目標使用量に対して電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については7.2%の超過となった。原因として品質保証を含む顧客要求に事項を満たすため資料作成が大幅に増加し、又コピー機も増設となった点が影響したと考えられる。	2016年度第2四半期7~9月、目標使用量に対して電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については4.4%、紙31.8%の超過となった。原因として水は、老朽化による水洗トイレの配管破損による水漏れが、また紙は、全期間同様の事情が原因と考えられる。	2016年度第3四半期10~12月、目標使用量に対して累計ベースで、電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については7.2%の超過となった。原因として第1四半期同様の点が影響したと考えられる。	2016年度第4四半期2017/1~3月、目標使用量に対して累計ベースで、電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、灯油23.9%(顧客要求でエリア増設・3月寒)、水20.5%(老朽化で蛇口破損)、紙71.7.2%(第1四半期同様の理由)の超過となった。(原因)	日付: 2016/9/23	日付: 2016/12/26	日付: 2017/3/24	日付: 2017/5/24	作成: KK	作成: KK	作成: KK	作成: KK				
年 度	目標使用量に対して実績は、電気-7.7%(目標を上回る達成)、ガソリン-17.5%(目標を大きく上回る達成)、廃棄物(目標を大きく上回る達成、但し変動幅が大きい)、となり目標を達成することができた。灯油23.9%(顧客要求でエリア増設・3月寒:次回は合理亭な目標設定要)、水20.5%(老朽化で蛇口破損・速やかな修理対応済:次回は合理亭な設定要)、紙71.7.2%(第1四半期同様の理由)の超過となった。一方、紙の使用量測定については、コピー機のカウンターの数値を使用しているが、実質的には社内目的には原則として裏紙を使用しており、森林資源に影響を与える量は少ない状況であることから、今後紙の購入量から合理的な計算値を以て測定するなど、測定方法の変更が求められる状況下にある。(検討課題) 中期目標期間全体の削減状況を俯瞰すると、省エネ分野において電力については、9408kwh(5%)、ガソリン11600(31%・大幅削減)と十分な成果を上げることができた。一方灯油及び水は、設備の増強や従業員の増加等で目標が、実情と乖離する状況が見られた(今後の検討課題)。廃棄物については、発生原因が不規則なため変動幅が大きく、合理的な期間の数値分散を考慮して、目標設定する必要がある。尚、紙については、使用量が増加傾向にあり、現実的な事情を考慮しつつ、裏紙や再生紙の使用努力を反映する測定方法に変更する必要性が認められる。(検討課題) 期間全体を通じて、すべての目標は達成されなかったが、省エネのメジャー分野にては達成を確保し、廃棄物及び省資源への取組み意識の浸透が大幅に前進したと言える。								2016年度第1四半期4~6月、目標使用量に対して電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については7.2%の超過となった。原因として品質保証を含む顧客要求に事項を満たすため資料作成が大幅に増加し、又コピー機も増設となった点が影響したと考えられる。	2016年度第2四半期7~9月、目標使用量に対して電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については4.4%、紙31.8%の超過となった。原因として水は、老朽化による水洗トイレの配管破損による水漏れが、また紙は、全期間同様の事情が原因と考えられる。	2016年度第3四半期10~12月、目標使用量に対して累計ベースで、電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、紙については7.2%の超過となった。原因として第1四半期同様の点が影響したと考えられる。	2016年度第4四半期2017/1~3月、目標使用量に対して累計ベースで、電気、ガソリン、灯油、廃棄物、水は順調に推移したが、灯油23.9%(顧客要求でエリア増設・3月寒)、水20.5%(老朽化で蛇口破損)、紙71.7.2%(第1四半期同様の理由)の超過となった。(原因)	日付: 2016/9/23	日付: 2016/12/26	日付: 2017/3/24	日付: 2017/5/24	作成: KK	作成: KK	作成: KK	作成: KK				

2016年度代表者による見直し記録

No. 20170609

発行日: 2017/6/9

1.代表者による見直し会議実施日時: PM3:00~4: 2017/6/9		承認	確認	作成
2.場所:事務所				
3.出席者:社長、工場長、事務局				
4.見直しのための情報				
①環境目的・目標に対する達成状況				
②環境マネジメントシステムの見直し結果				
③周囲の環境状況の変化に対応				
④利害関係者からの苦情及び関心事				
代表者による見直し記録		検討内容		
(1)「是正及び予防処置記録」にて指摘された不適合及びその是正並びに予防処置についての評価		紙、水、灯油において目標未達となったが原因が明確に識別され、止むを得ない事情を認める。又、メジャー分野で着実な成果を得ており、取組みの浸透が認めれる。新たな測定法・目標の下、引続き削減努力を続けるとしている点、これを妥当と認める。		
(2)環境目的・目標の適切性並びに環境パフォーマンスの達成度及び進捗度についての評価		目的及び目標の設定は具体的かつ妥当であり、パフォーマンス達成度及び進捗状況については妥当性を認める。		
(3)環境マネジメントシステムが下記の事項に照らして引き続き適切且つ有効であるか否かの評価				
1)環境関連法規の改正、廃止、新規制定等に関して		最新の環境関連法規に対する確認がなされており、適切である。		
2)利害関係者の環境に対する感受性の変化に対して		該当する事項はなかった。		
3)新製品、新プロセスの導入及び組織の変更等環境管理活動の変化に関して		省エネタイプの車両、空調、LED照明化及び太陽光発電の投資効果が浸透してきている。		
4)環境に関する科学上及び技術上の著しい進展に関して		該当なし。		
5)環境に関する事故、その他から学ぶことに関して		引続き外部の情報を積極的に取り入れて水平展開を計っており適切且つ有効である。		
6)市場動向の変化に関して		売電に加えて家具類の修理や自然無公害塗装などの推奨を継続して推進しており、環境に役立っている。		
7)環境に関わる報告、コミュニケーションの適切性に関して		従来より定期的に当社ホームページに方針掲載公表されておりコミュニケーションの適切性は維持されている。		
6.代表者からの是正処置要求事項:				
①定期的に従業員教育を実施し中期計画に沿って各分野ごとに削減活動の浸透を計ること。				
②設備については更新時には省エネタイプの設備を積極的に導入するようにすること。				
③紙を含めて、実状と乖離してしまい継続困難とならぬよう合理的な目標を設定し成果を確認しながら進めること。				
7.見直し結果:中期目標期間中、省エネ分野において電力については、9408kwh削減、及びガソリン1160ℓと大幅削減を達成し、十分な成果を上げることができた。又、廃棄物については、変動幅が大きいので数値の分散傾向を吟味して合理的な目標設定の上、注意深く活動を継続する必要がある。一方紙、灯油及び水は、777X立上に伴う顧客要求対応等で目標未達状況が見られたが、当社の規模における使用量は実質的に限界に近いレベルで推移しており、適切な経済活動を損なわぬ範囲で現実的な目標設定をするべきと考える。省エネのメジャー分野で着実な成果を得ており、取組みの浸透が認めれる。今後も厳しい条件下ではあるが、現行の管理システムのもと、各部門には活動を継続し、目標の達成を期して一層の尽力をお願いしたい。				